

令和 6 年 (2024 年) 8 月 28 日 (水曜日) (5)

ラ グ 工 業 管 路 管 理 最 適 化 技 術 を 紹 介 す 東 亜 福 島 県 水 道 講 習 会 に 参 画 す

東亜グラウト工業は7月29日、福島県主催の「水道事業技術力確保支援事業・研修会(管路管理)」に参画し、衛星による漏水検知技術「アステラ」と、管路更新計画の最適化を支援するソフトウェア「アセットアドバンス(AI機械学習アルゴリズム利用)」を組み合わせて行う管路マネジメント最適化技術を紹介した(写真)。

同技術講習会には青森・岩手・宮城・山形・福島・栃木・茨城の7県から水道事業体職員ら128名が参加し、研修後は漏水調査や管路更新に

ついでグループディスカッションが行われた。

研修会では、▽GIS(地理情報システム)データのAI活用(デジタル水道台帳)による業務最適化と日本の水道事業の将来像▽「アステラ・リカバリー」技術と現場実例▽AIによる更新計画支援技術「アセットアドバンス」について説明が行



われた。

この研修会は、福島県が2018年度から実施している研修事業の一環で、県内の水道事業体職員の技術力向上を目的としている。